

地域医療支援病院業務報告書

令和 6年 8月 13日

愛知県知事殿

開設者 住 所 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地

氏 名 公立大学法人名古屋市立大学
理事長 郡 健二郎

下記のとおり、 令和5年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター					
所 在 地	〒462-8508 名古屋市北区平手町一丁目1番地の1					
診 療 科 名	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓・透析内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、内分泌・糖尿病内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、脳神経外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、整形外科、形成外科、精神科、児童精神科、リウマチ科、小児科、小児アレルギー科、小児科（新生児）、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科、歯科口腔外科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
					500	500

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	ICU（4床）・HCU（8床）・NICU（12床）・GCU（24床） 病床数 48床
化 学 検 査 室	臨床化学・免疫自動分析装置, 多項目自動血球分析装置, 血液ガス分析装置, 全自動血糖測定装置, 全自動グリコヘモグロビン測定装置, 全自動尿分析装置, 全自動尿中有形成成分分析装置, 臨床検査システム, 遺伝子解析装置, 全自動輸血検査装置
細 菌 検 査 室	自動血液培養装置, 分類同定・感受性試験装置, 顕微鏡, 孵卵器, 質量分析装置
病 理 検 査 室	自動包埋, 自動染色封入装置, ミクロトーム, クリオスタット, 写真撮影装置, 自動免疫染色装置
病 理 解 剖 室	解剖台, 遺体用冷蔵庫, 写真撮影装置
研 究 室	机, 椅子, パソコン
講 義 室	室数 1 収容定員 156 人
図 書 室	室数 1 蔵書数 4,370冊程度 インターネット用パソコン5台(オンラインジャーナル対応)
救急用又は患者搬送用自動車	搬送用ストレッチャー, インバーター, 回転灯, 外部スピーカー, ドライブレコーダー, カーナビゲーション 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	〔専用室の場合〕 床面積 86.15 m ²

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

別紙1

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

※別添1【月別 患者紹介実績】

1 算定期間 2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日

2 紹介率 85.3 %

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 ($A/B \times 100$)
17,961 人	21,054 人	85.3 %

3 逆紹介率 100.8 %

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 ($C/B \times 100$)
21,243 人	21,054 人	100.8 %

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあっては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績 ※別添2【各種共同利用実績】のとおり

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

- ・共同利用を行った医療機関の延べ機関数：2,461
- ・共同利用を行った医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数：2,368
- ・共同利用に係る病床の病床利用率：2.3%

2 共同利用の範囲等

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

- ・図書室、医師登録医室
- ・開放型病床（5床）
- ・医療機器：CT、MRI、PET-CT、RI、骨塩定量測定装置、乳房撮影装置、リニアック

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程	【 有 】	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	看護師（地域医療連携室主幹）

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

※別添3【共同利用（開放型病床）の手引き】のとおり

4 登録医療機関の名簿 ※別添4【登録医療機関名簿】のとおり

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5 床

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況※別添5【医療従事者名簿】のとおり

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
			〔常勤 〔専従 〔非常勤 〔非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 (ICU/HCU) 1 2 床
専用病床	名称 () 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
集中治療室 (ICU/HCU)	60.4㎡/161.2㎡	【ICU】 輸液ポンプ, シリンジポンプ, ポンプユナイター, 人工呼吸器, 加温加湿器, ベッドサイドモニター, セントラルモニター, 除細動器, 体外式心臓ペースメーカー, 血液浄化装置, FFPパック解凍器, 自動心肺マッサージ装置 【HCU】 輸液ポンプ, シリンジポンプ, ポンプユナイター, ポンプユナイター専用架台, 人工呼吸器, 加温加湿器, ベッドサイドモニター, セントラルモニター, 多用途透析用監視装置	可
救急外来	270.12㎡	輸液ポンプ, シリンジポンプ, ベッドサイドモニター, 医用テレメーター, 低圧持続吸引器, 除細動器, 可搬用人工呼吸器, ネブライザ, 電気メス, 心電図記録装置, 超音波, 血液ガス分析装置	可
手術室	337.47㎡	高周波手術装置, 超音波手術システム, 超音波手術装置, 腹腔用ガス気腹装置, 腹腔鏡医療用吸引装置, ガス気腹装置, 鼻腔用手術装置, 手術用顕微鏡, ナビゲーションシステム, 一般的電気手術器, 電動式骨手術装置, パワープロシステム, micro speed uni GD, 体内式衝撃波結石破碎装置, リトクラスト, 白内障・硝子体手術装置, 冷凍手術装置, 光ファイバー手術装置, Da Vinci Xi, Oアームイメージングシステム	可
検査室	455.10㎡	臨床化学・免疫自動分析装置, 多項目自動血球分析装置, 血液ガス分析装置, 全自動血糖測定装置, 全自動グリコヘモグロビン測定装置, 全自動尿分析装置, 全自動尿中有形成分分析装置, 臨床検査システム, 自動血液培養装置, 分類同定・感受性試験装置, 安全キャビネット, 顕微鏡, 孵卵器, 自動免疫染色装置, 遺伝子解析装置, 全自動輸血検査装置, 質量分析装置	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	3,324人 (1,208 人)
上記以外の救急患者の延べ数	7,244人 (1,657 人)
合計	10,568人 (2,865 人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

33 回

6 備考

救急病院の認定告示 2011年7月5日 (認定期間2021年4月1日～2024年3月31日)
病院群輪番制病院

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容 ※別添6【研修実績】のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	16 回
(2) (1) の合計研修者数	813 人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 **【有】**※別添7【研修プログラム】のとおり(2) 研修委員会の有無 **【有】**

(3) 研修指導者

※別添8【研修管理委員会委員名簿】のとおり

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
2階大ホール	182.2 m ²	机, 椅子, プロジェクター, スクリーン, マイク設備
4階集団指導室	71.0 m ²	机, 椅子, プロジェクター, スクリーン

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏名	職種	役職等
管理責任者の氏名、職種、役職等		医師	病院長
管理担当者の氏名、職種、役職等		医師 看護師	病院長補佐・情報管理委員長 地域医療連携室主幹

2 諸記録の保管場所及び分類方法

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		庶務係 薬剤部 情報システム	日付順 入外別日付順 病院情報システム
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	/
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	/
	閲覧の実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	/

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名		職種		役職等	
			医師		病院長	
閲覧担当者	氏名		職種		役職等	
	(一般)		事務		医事係長	
	(登録医)		看護師		地域医療連携室 主幹	
閲覧場所	医療相談室 1・2 医師登録医室 SAVEネット経由登録医療機関インターネットパソコン端末					
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共団体	その他	合計	
	2,050	52	9	57	2,168	
閲覧手続の概要	<p>【一般】 本人証明または代理人証明を確認のうえ、所定の書類に必要な事項を記入し申し込み、病院長決済後に閲覧調整する。</p> <p>【登録医】 地域医療連携室に連絡し、日程等を調整のうえ閲覧することができる。その他の者は書面による申し出を受けた後、病院長決済後に閲覧調整する。また、地域医療連携ネットワークシステムを接続している登録医については、患者からの同意（同意書）を得た後に申し出、閲覧調整する。</p>					

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4 回

2 委員会における議事の概要

第1回 令和5年5月15日 14時～14時45分 オンライン会議 17名出席

(議題) 実績報告、西部医療センターの取り組み計画、意見交換など

第2回 令和5年8月21日 14時～15時 オンライン会議 18名出席

(議題) 実績報告、西部医療センターの取り組み、北区医師会の取り組み、意見交換など

第3回 令和5年11月20日 14時～15時 オンライン会議 20名出席

(議題) 実績報告、西部医療センターの取り組み、意見交換など

第4回 令和6年2月19日 14時～15時 オンライン会議 19名出席

(議題) 実績報告、西部医療センターの取り組み、意見交換など

※別添9-1 【第1回 委員名簿】

別添9-2 【第2回以降 委員名簿】

別添9-3 【出欠表】

※別添10-1 【第1回 議事録】

別添10-2 【第2回 議事録】

別添10-3 【第3回 議事録】

別添10-4 【第4回 議事録】

患者相談の実績

患者相談を行った場所	患者サポートセンター			
患者相談担当者	氏	名	職	種
				役
				職
				等
患者相談件数	5,833件			

患者相談の概要

・医療費・生活費に関する問題の解決、調整援助	77件
・受診や入院についての手続き、不安などの問題	327件
・家族関係、患者療養中の家事、育児、教育、職業などの問題	13件
・在宅ケア、諸サービスの活用の援助	728件
・診断・治療の不安に対する理解促進援助、心理的・社会的問題	16件
・関係機関に対する情報提供及び情報収集	81件
・転院のための医療機関、退院・退所後の社会福祉施設などの選定	54件
・復職・復学援助	3件
・DV・虐待（小児・高齢者）	3件
・入院相談（入院前面談）	4,531件

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

※別添11【相談対応事例】

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

退院時共同カンファレンス

主治医、病棟看護師、入退院支援職員、ケアマネージャー、在宅医、訪問看護師、
訪問薬剤師等により退院後の支援について検討

カンファレンス件数 371 件

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

インターネット回線を利用した「SAVEネット」による診療予約、放射線（CT、MRI単純検査）
予約と共に、患者の同意を得られた場合に該当患者のカルテ記録を180日間に限り閲覧可能として
いる。各種カルテ記録、放射線画像、内視鏡画像、採血検査データ等を提供している。

- ・SAVEネット設置医療機関 : 129 件
- ・カルテ公開患者総数 : 2,102 件
- ・診療・放射線予約 : 2,284 件

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

- ・訪問看護指示書件数 788 件
- ・居宅サービス計画に関する主治医連絡票件数 744 件

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専用の室の名称	地域医療連携室		
担当者	氏名	職種	役職等
		看護師	地域医療連携室主幹

2 病院の機能に関する第三者による評価

評価を行った機関名	公益財団法人 日本医療機能評価機構 機能種別版評価項目3rdG:Ver. 2.0
評価を受けた時期	2023年1月18日～2028年1月17日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。
※別添12 【公益財団法人 日本医療機能評価機構 認定証】

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績
※別添13 【退院調整部門実績】のとおり

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容
種類：乳がん
内容：※別添14-1、2 【乳がんパスの内容】のとおり
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み
地域医療支援病院運営委員会にて案内、広報誌「地域医療連携NEWS」、講演会などで広報 個別に紹介元医療機関に案内

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法
診療案内・病院ホームページ・広報誌「地域医療連携NEWS」・運営委員会・講演会 等 ※別添15 広報誌「地域医療連携NEWS」(一例)
内容等の概要
病院機能、設備、診療実績、診療機能、受診の仕方、トピックス 等

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。